



平成 27 年 9 月 30 日(水)  
練馬区立開進第四小学校  
校長 佐々木 秀之

# 開四小だより

## 10月号

### 運動会の「お・も・て・な・し」

校長 佐々木 秀之

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉のとおり、うだるような暑さはいつの間にか爽やかな風へと変わり、虫の声の便りが聞かれるようになってきました。子供たちは夏休み明けから今日まで、運動会を成功させようと、毎日一生懸命練習や係活動に励んできました。明々後日の運動会では、その成果を存分に発揮してくれるものと期待しています。

2020年の夏季オリンピック・パラリンピック競技大会は、56年ぶりにこの東京で開催されることが決定しています。オリンピックは、フランスの教育者ピエール・ド・クーベルタン男爵の働きかけによって、「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」というオリンピック精神の基、1896年近代オリンピックとして復活しました。

パラリンピックは当初、リハビリテーションのためのスポーツでしたが、現在はアスリートによる競技スポーツへと発展しています。出場者も「車いす使用者」から対象が広がり、もうひとつの(Parallel) + オリンピック (Olympic) という意味で、「パラリンピック」という名称が定められました。

アスリートが生み出す興奮と感動は、きっと大会のシンボルとしてなじみ深い、世界五大陸の団結を表した五輪のマークのように、世界中の人をより強く、固く、結んでいくことでしょう。この開四に通う・通った子供たちの中から、2020年東京大会に選手として出場する子供がいるかもしれません。

二年前の9月8日、国際オリンピック委員会 (IOC) 総会で、滝川クリステルさんは、「おもてなし」ということばで、他国ではできない、日本人だからこそできる日本古来のもてなしの精神を持って、世界中の人をお迎えすることをアピールしました。

「おもてなし」とは、「もてなし」に丁寧語「お」を付けた言葉です。「もてなし」の語源は「モノを持って成し遂げる」という意味です。お客様に対応する扱い、待遇とも言われます。もう一つの語源は「表裏なし」です。つまり、家族同様見返りを求めない表裏のない「心」でお客様をお迎えするという意味になります。また、おもてなしには目に見える部分「モノ」と目に見えない部分「コト」があるといえます。茶道の世界で例えると「お客様」をおもてなしする際に、季節感のある生花、お客様に合わせた掛け軸、絵、茶器、匂い(御香)など具体的に身体に感じ、目に見えるものを「モノ」と言い、瞬時に消えてしまう言葉、表情、仕草など、目に見えない心を「コト」と言うそうです。

明々後日の運動会は、一流アスリートのような記録が出るわけではありません。夏休み明けから雨天の日が多く、練習を十分に行えたとは言えませんが、今までオール開四の体制で準備を進めてまいりました。子供たちの精一杯の演技・競技、学校の校風となった語先後礼、メモを見ないあいさつをする等の姿をもって、保護者の皆様、地域の皆様を「お・も・て・な・し」したいと思います。

## 頑張った連合水泳記録会

6年担任

9月3日(木)に開三小・開四小・小竹小の6年生が開三小に集まり、連合水泳記録会が行われました。6月に水泳指導が始まってから、練習をしたり記録を計ったりしながら、自分がエントリーする距離・種目を決めていきました。当日は自己ベスト記録を目指して一生懸命泳ぐ姿やみんなで声を合わせて応援する姿が見られました。開四小の6年生として素晴らしい活躍でした。

## 運動会に向けて

体育主任

今年度は「汗と涙の物語 赤白かがやく笑顔で終わろう」をスローガンに、子供たちは短距離走や、表現、団体種目と、一生懸命頑張っています。休み時間や放課後も練習をする音楽や力強い声、金管バンドの音色などが学校いっばいに響いて、まさに運動会一色です。当日は、ぜひ会場に足を運んでいただき、子供たちの成長した姿をご覧ください。そして、温かい声援と拍手をお願いいたします。

## 読書週間

図書部

10月27日から読書週間が始まります。読書週間では、各学年の発達段階に応じて、読み聞かせ、ブックトーク、本の探検ラリーなどを予定しています。また、11月4日(水)には、図書ボランティアの保護者の方と学校中の先生方が読み聞かせをしてくれます。詳しくは、職員室前の掲示板をご覧ください。

## キッズルームより

心のふれあい相談員  
スクールカウンセラー

先月、甚大な被害をもたらした天候もようやく落ち着き、秋らしいすがすがしい気候になってまいりました。運動会のことや学校でのことで、子供たちは聴いてほしいことがたくさんあるようです。聴いてもらうと心が満たされ、元気が出てきます。元気のない状態が続くようでしたら、お気軽にご相談ください。

(直通携帯 080 - 2010 - 4326 にご連絡ください。)

### 【10月の予定】

2・8・9・15・16・19・22・26・29(月・木・金) 10:00~16:00  
6・13・27(火) 9:00~16:30

## 生活指導から

生活指導主任

保護者と教職員合同の講演会『子どもの心のコーチング』では、子育てに関する貴重なお話を伺うことができました。“コーチ”とは「やりたいことのために必要な力をその人の中から引き出す」ことです。子どもがまだできないうちは代わりにしてあげることで安心感を与えますが、できるようになったら子どもにさせることが大切だそうです。

また、「子どもは親から愛されることで愛することを学ぶ」「自分の人生を自分で切り開く力をつける」「人の役に立つ喜びを感じさせる」ということについての具体的な方法を教えていただきました。教室でも実践していきたいと思えます。

## 10月の行事予定

1	木	都民の日
2	金	運動会前日準備(5、6年) 午前授業(1~4年)
3	土	運動会
4	日	
5	月	振替休業日
6	火	全校朝会 教育実習始
7	水	朝遊び 委員会
8	木	児童集会
9	金	朝学習
10	土	3時間授業 安全指導日
11	日	
12	月	体育の日
13	火	全校朝会 下田移動教室(5年)
14	水	
15	木	給食試食会
16	金	朝学習 漢字検定
17	土	
18	日	
19	月	全校朝会 委員会
20	火	朝読書 社会科見学(3)
21	水	研究会のため短縮午前授業
22	木	音楽朝会
23	金	1学期終業式
24	土	
25	日	
26	月	2学期始業式 読書週間始 クラブ
27	火	朝読書
28	水	朝読書 午後金曜時間割
29	木	朝読書 歯みがき巡回指導(4)
30	金	朝読書 避難訓練 研究会のため4時間授業 (3年生のみ5時間授業)
31	土	



# 全国学力調査（6年生）の結果

平成27年4月21日実施

		平均正答率			
校内		78.0	(国語A) 主として知識		
都内		72.3			
全国		70.0			
分類	区分	目標値	平均正答率		
			校内	都内	全国
領域	話すこと・聞くこと		65.9	57.4	53.0
	書くこと		90.9	87.7	86.0
	読むこと		61.6	59.0	55.2
	言語事項		85.1	78.6	77.2
観点	関心・意欲・態度		/	/	/
	話す・聞く能力		65.9	57.4	53.0
	書く能力		90.9	87.7	86.0
	読む能力		61.6	59.0	55.2
	言語についての知識・理解・技能		85.1	78.6	77.2

		平均正答率			
校内		71.8	(国語B) 主として活用		
都内		66.5			
全国		65.4			
分類	区分	目標値	平均正答率		
			校内	都内	全国
領域	話すこと・聞くこと		/	/	/
	書くこと		67.6	62.2	61.1
	読むこと		74.8	68.6	68.1
	言語事項		/	/	/
観点	関心・意欲・態度		62.5	55.7	55.4
	話す・聞く能力		/	/	/
	書く能力		67.6	62.2	61.1
	読む能力		74.8	68.6	68.1
	言語についての知識・理解・技能		/	/	/

		平均正答率			
校内		81.7	(算数A) 主として知識		
都内		77.4			
全国		75.2			
分類	区分	目標値	平均正答率		
			校内	都内	全国
領域	数と計算		86.0	81.4	80.1
	量と測定		79.9	73.6	71.3
	図形		74.4	69.2	64.5
	数量関係		83.5	85.4	84.9
観点	関心・意欲・態度		/	/	/
	数学的な考え方		/	/	/
	数量や図形についての技能		83.0	78.2	77.2
	数量や図形についての知識・理解		80.7	76.8	73.6

		平均正答率			
校内		58.0	(算数B) 主として活用		
都内		47.8			
全国		45.0			
分類	区分	目標値	平均正答率		
			校内	都内	全国
領域	数と計算		56.3	45.3	42.4
	量と測定		55.7	44.6	41.7
	図形		58.3	48.5	45.6
	数量関係		56.8	45.8	43.0
観点	関心・意欲・態度		/	/	/
	数学的な考え方		50.8	38.6	35.3
	数量や図形についての技能		68.2	60.7	58.7
	数量や図形についての知識・理解		80.7	76.2	74.9

		平均正答率			
校内		68.7	(理 科)		
都内		62.4			
全国		60.8			
分類	区分	目標値	平均正答率		
			校内	都内	全国
枠組み	「知識」問題		66.7	62.4	61.3
	「活用」問題		69.8	62.4	60.5
区分	A	物質	65.6	59.6	57.4
		エネルギー	73.1	66.5	65.6
	B	生命	69.3	62.0	61.2
		地球	67.4	60.1	57.8
観点	関心・意欲・態度		/	/	/
	科学的な思考・表現		69.8	62.4	60.5
	観察・実験の技能		63.4	57.1	55.5
	自然事象についての知識・理解		70.7	69.0	68.6

「人の気持ちが分かる人間になりたい」  
 「人の役に立つ人間になりたい」  
 —児童質問紙調査より—  
 「気持ちが分かる人間になりたい」と思っている児童が85.2%、「役に立つ人間になりたい」が84.1%と、いずれの設問も全国や東京都の平均約70%をはるかに越える頼もしい素顔の開四小の6年生です。  
 日常の家庭学習の時間も、毎日1時間以上している児童が86.4%いて、これも全国の62.7%、東京都の65.2%を大幅に凌駕する結果となりました。  
 ただ、「学校の宿題をしていますか」に対しては、「している」が全国が87.4%、東京都84.9%だったのに対し、本校は79.5%でした。宿題も毎日の積み重ね、習慣化で力となります。継続こそ力なり。「どちらかといえば...」、「あまりしていない」お子さんにはがんばってほしいです。

## 第 1 回授業アンケートを実施しました

### 授業アンケート結果

7月に実施した第1回授業アンケートの集計結果です。

児童の約95%が、各設問に対して肯定的な評価（「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つのうち「そう思う」「だいたいそう思う」の2つ）をしていることがわかりました。

設問ごとにみていくと、「発表や質問をしっかりと聞いてくれる」「黒板に書く字や掲示物がわかりやすい」「声の大きさや話す速さはちょうどよい」「授業が楽しくてわかりやすい」のポイントが特に高くなっています。

	設問	「そう思う」「だいたいそう思う」の回答(%)
1	先生の授業は楽しくてわかりやすい	95.2
2	先生はわかるまで教えてくれる	92.8
3	先生は授業中に言葉をかけてくれる	91.5
4	先生は発表や質問をしっかりと聞いてくれる	98.7
5	授業の時のルールが決まっている	94.4
6	先生の指示や授業の進み方がわかりやすい	94.8
7	先生の声の大きさや話す速さはちょうどよい	95.7
8	先生が黒板に書く字や掲示物がわかりやすい	96.6
9	授業の進む速さはちょうどよい	93.6

### 授業改善に向けた取り組み

授業アンケートの結果をうけて、授業改善に向けた次のような改善策を立てました。

これまでの指導で効果的であるものは継続して行い、各クラスの児童の実態を考慮しながら、これら改善策を今後の指導に生かしていきます。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

児童がいっそう主体的に学ぶことができるよう、教材や資料、授業展開を工夫する  
学習グループや学級全体で話し、聞き、理解し合う態度と能力を育て、その機会を意図的に設ける  
児童が見通しをもって学習に取り組む計画づくりを行い、課題解決の時間を十分確保する  
授業中の姿勢に留意させ、実態に即して指導していく  
正しく話し、聞くことの大切さと、楽しさを味わわせる指導を推進する  
児童相互が、共同して課題解決する学習活動の場と機会をいっそう増やす  
わかるまで個別に対応する時間をとると同時に、自力で解決しようとする態度の育成にも力を注ぐ  
授業や日常生活で、児童とのコミュニケーションをよりいっそう充実させる  
机間指導を充実し、より児童一人一人の課題に対応する  
問いかけや称賛、励ましの言葉かけの機会をいっそう増やす  
「わからない」と臆せず言える学級の雰囲気と、態度を育てる  
授業の流れやあいさつ、発言、話し合いなどの約束を整理し、わかりやすく掲示する  
指示の内容を吟味して、より適切に伝えるようにする  
児童にとって聞きやすい話し方や速さ、言葉遣いをより意識して指導にあたる  
黒板への板書構成やカラーチョークの効果的活用、提示物などを工夫する  
学習理解をより深めるため、発展課題や補充課題など児童のペースに沿った授業展開を心がける